戦場のノッポさん

伊藤貴晴　作

【登場人物】

男

少年

豚

女

【１】　戦場

戦場。銃撃の音がする。

男が銃を持ち、戦っている。

男 大丈夫か？

男は側にいる誰かに話しかける。

男 ずいぶんやられたな。歩けるか？　おい、しっかりしろよ。これで終わりなんだ。どっちみち、この戦争は長くないぞ。お互い消耗しすぎた。これが終わったら故郷に帰ろう。な。おい、聞いてるのか？

男の側にいる誰かは返事をしない。

男 おい、返事しろよ。おい、死ぬんじゃねえよ。ジン、返事しろ。おい。帰るんだろ。帰るんだよ。起きろ。おい、起きろ、ジン

男、退場。

女、登場。

女 お元気ですか？　あなたがいなくなってから、二ヶ月が経ちました。こちらはそれほど変わっていません。山の雪が溶けて、春の陽気が近づいてきました。そちらはまだ寒いですか？　雪は降りませんか？　春になったらハイキングに行って、草の上で思い切り寝転びたいです。あなたが一日でも早く帰ってくることを祈っています

女、退場。

【２】　ノッポさんと少年

男がうずくまっている。

少年、登場。

少年 どうしたの？

男は返事をしない。

少年 ねえ、大丈夫？　どうしたの？　お腹痛いの？　お腹空いたの？　病気？　胸焼け？　二日酔い？

男は返事をしない。

少年 死んじゃった？

少年は男の鼻をつまむ。

男 ぬおお

少年 起きた

男 何するんだ

少年 死んだかと思って

男 鼻をつまむなよ。苦しいだろ

少年 死んでたら苦しくないだろ

男 生きてるよ

少年 生きてるの？

男 生きてるだろ

少年 生きてるのか

男 生きてる、のか？

少年 生きてないの？

男 生きてると思うけど

少年 お墓、作る？

男 いや、いらない

少年 じゃあ豚の餌にしていい？

男 嫌だよ。そんなことするなよ

少年 冗談だよ

男 冗談か

少年 ねえ、おっさん

男 おっさん？

少年 おっさんだろ？

男 誰がおっさんだよ

少年 あんただよ

男 おっさんじゃないよ

少年 おっさんだよ

男 バカ言うな。まだ若いんだぞ

少年 歳は？

男 十六

少年 嘘

男 嘘だよ

少年 嘘つきは泥棒になって捕まって百叩きの刑になって死ねばいい

男 お前、ひどいこと言うなあ

少年 本当は何歳？

男 二十六

少年 俺は十四

男 君は、この辺に住んでるのか？

少年 うん。この森の奥

男 森に？

少年 戦争があるから。隠れてるんだ

男 そうか

少年 あんたは？

男 え？

少年 軍人だろ？

男 ああ

少年 どっちの軍？

男 西側

少年 敵か

男 敵だったらどうする？

少年 別に

男 別に？

少年 俺は戦争やってるわけじゃないから

男 それはありがたい。俺は逃げ出してきたんだ

少年 逃げてきたの？

男 ああ

少年 いいの？

男 いいも何も、逃げてきたんだから。もうどうしようもないよ

少年 そうだね

男 というわけで、見逃してくれ

少年 どうするの？

男 国に帰るよ

少年 帰れる？

男 分からん

少年 もうすぐ戦争終わるよ

男 何でそんなことが分かるんだよ

少年 誰が見たって分かるよ。そろそろ限界だろ

男 そうだな

少年 うちに来る？

男 え？

少年 戦争が終わるまで、うちにいなよ

男 いや、でも

少年 見つかったら殺されるんだろ？

男 ああ

少年 隠れてたほうがいいよ

男 いいのか？

少年 いいよ

男 親がいるだろ

少年 いないよ

男 いない？

少年 俺の親は戦争で死んだよ

男 そうか

少年 さ、行こう

男 ああ

少年 おっさん、名前は？

男 ジン

少年 俺はライ。よろしく

男 ああ、よろしく

男・少年、退場。

【３】　ノッポさんと少年と豚

男・少年、登場。

少年 おはよう

男 ああ、おはよう

少年 よく眠れた？

男 おかげさまで

少年 それはよかった

男 悪いな、ベッドまで借りて

少年 いいよ。今は使ってないから

男 安心して眠れたのは久しぶりだ。戦場だといつ死ぬか分からないからな

少年 よく今まで生きてられたね

男 本当だよ。みんなバタバタ死んだからな

少年 おっさん、運がよかったんだよ

男 運が悪かったのかもな

少年 え？

男 生き残る方が運がいいのか、死ぬ方が運がいいのか

少年 何それ？

男 俺にもよく分からん

少年 ふーん

男 なあ、おっさんって言うのやめてくれないか？

少年 おっさんだろ？

男 何か嫌なんだよ

少年 じゃあノッポさんだな

男 ノッポさん？

少年 背、高いから

男 名前で呼べよ

少年 ノッポさん、決定

男 ま、何でもいいけどさ

少年 朝ご飯食べるでしょ？

男 ああ

少年 用意するよ

男 悪いな

少年 いいよ。そのかわり色々働いてもらうからね

男 俺にできることなら

豚、登場。

豚 プギー

豚、逃げる。

男 何だ？

少年 トニー、逃げるなよ

男 トニー

少年 こっち来いよ

少年は豚を連れてくる。

豚 プギー、プギー

少年 怖がるなよ

豚 知らない人がいるよ

少年 大丈夫だから

男 何だこいつ？

少年 俺が飼ってる豚

男 豚？

豚 誰？　誰？

少年 ノッポさんだよ

豚 ノッポさん？　ノッポさんって何？

少年 ノッポさんはノッポさんだよ

豚 知らないよ

少年 そりゃ知らないよ

豚 何でここにいるの？

少年 昨日拾ってきたんだ

男 俺は猫か？

少年 間違ってないだろ？

男 間違ってないけど

豚 怖くない？

少年 怖がりなんだ

男 そうみたいだな

少年 手、出して

男 え？

少年 ほら

男 ああ

少年 ほら、臭いかいでごらん

豚は男の手の臭いをかぐ。

豚 カマンベールチーズの臭いがする

男 そんな臭いするか？

豚 カマンベールチーズの臭いがする人に悪い人はいないよ

男 そうなのか？

少年 な、怖くないだろ？

豚 うん、怖くない

男 何なんだ？

少年 臭いをかぐと落ち着くんだ

男 変なの

少年 ほら、あいさつしな

豚 トニーです

男 ジンです

豚 ノッポさんじゃないの？

少年 ノッポさんだよ

豚 ノッポさんだね

男 うん、まあいいよ

少年 じゃあご飯にしようか

男 ちょっと待って

少年 何？

男 これ、豚なの？

少年 そうだよ

男 何で？

少年 何でって何？

男 本当に豚なの？

少年 豚だよ。な？

豚 うん、豚だよ

男 どこが？

少年 どこがって、見たまんま

男 見えないよ

少年 それは目が腐ってるんだよ

男 そんなことないよ

少年 じゃあ分かるでしょ

男 分かんないよ。どこが豚なの

少年 全部

男 何で喋るの？

少年 魔法がかけてあるんだ

男 魔法？

少年 父さんが魔法をかけたんだ。喋れるように

男 魔法？

少年 俺の父さん、魔法使いなんだ

男 へえ

少年 信じてないだろ

男 うん

少年 いいよ、別に

男 いや、でも、喋ってるよな

少年 そうだろ

男 え？　でも

少年 別にいいだろ、何でも

男 豚なのか

豚 プギー

男 ガリガリだな

少年 そうなんだよ

男 豚ってもっと太ってるんじゃないの？

少年 だから太らせたいんだけど

豚 ライ

少年 何？

豚 お腹すいた

少年 よし、ご飯にしよう。たくさん食べろよ

豚 うん

少年 たくさん食べてもっと太るんだぞ

豚 うん

少年 太ったらソーセージにして市場で売るからな

豚 そうなの？

少年 うん

男 いいのか？

少年 だって元々食用なんだから

豚 知らなかった

男 そうなんだ

少年 さ、ご飯にしよう

豚 僕、あんまりお腹すいてない

少年 そんなわけないだろ。たくさん食べろよ

豚 食べたら食べられる

男 お前も大変だな

少年・男・豚、退場。

女、登場。

女 お元気ですか？　最近、あなたからの返事が届かなくなりました。やはり戦場では手紙を書くのも難しいのでしょうか。この手紙が届くかどうかも心配です。無理なら返事は書かなくてもいいです。ただあなたの無事を祈っています

女、退場。

少年・男・豚、登場。食事をする。

男 こんなにうまい飯は久しぶりだ

少年 だろ？

男 戦争なんかやってると、ろくな物が食えないからな

少年 たくさん食べてよ

男 これ何？

少年 トリュフ

男 トリュフ？

少年 トニーがとってきてくれるんだ

豚 プギー

男 ああ、豚だからな

少年 色々とってきてくれるよ。椎茸とか松茸とか

男 すごいな

少年 それを市場で売るんだ

男 へえ

少年 ニワトリも飼ってるし、畑もある。食べるのには困らないよ

男 全部一人で面倒みてるのか？

少年 いや、だいたいトニーがやってくれるよ

男 そうなのか？

豚 うん

少年 畑仕事は得意だよな

男 このスープ、鶏肉が入ってるよな

少年 うん

男 これはどうしたの？

少年 さばいた

男 さばいた？

少年 飼ってるニワトリをさばいた

男 ライが？

少年 トニーが

男 トニーが？

豚 血がいっぱい出たよ

男 そうか

少年 トニーは何でもできるんだ

男 お前、怖がりじゃないのか？

豚 ニワトリはそんなに怖くないよ

男 ふーん

少年 ノッポさんはとりあえず家のことを手伝ってね

男 分かった

少年 料理はできる？

男 いや、あんまり

少年 じゃあ飯はトニーに作ってもらおう

男 こいつ、飯も作れるの？

少年 何でもできるよ

豚 プギー

少年 やってもらうのは水くみとか薪割りとか、肉体労働

男 任せろ

少年 あと掃除と洗濯と畑仕事とニワトリの世話とお茶くみとトニーの世話ね

男 そんなにあるのか？

少年 できることはやってもらうよ

男 分かった

少年 ご飯まだいる？

男 じゃあもらおうかな

少年 トニーは？

豚 いらない

少年 じゃあ持ってくるよ

豚 食べたら食べられる

少年、退場。

男 トニーはいつからここにいるの？

豚 覚えてない。気がついたらいたよ

男 そうなのか

豚 ライとは小さい頃からずっと一緒なんだ

男 でもソーセージにされるんだな

豚 うん

男 ライはずっとここに住んでるの？

豚 うん。前はお父さんも一緒だったけど、戦争で死んじゃったから

男 それはいつ頃？

豚 ずっと前

男 そうか

豚 ライのお父さんは魔法使いなんだよ

男 それ、本当なのか？

豚 本当だよ

男 そういう話はよく分からん

豚 ライも魔法使いなんだよ

男 そうなのか？

豚 うん

男 そんな風には見えないけど

豚 何にもしてないから分かんないよね

男 魔法って何ができるの？

豚 何でもできるよ

男 本当に何でもできるの？

豚 本当に何でもできるよ

男 そうか

豚 ノッポさん

男 何？

豚 ライをよろしくね

男 ああ、分かった

男・豚、退場。

【４】　郵便

男と豚がいる。

豚 いい？　相手の目を見るんだよ

男 うん

豚 目をそらしたらダメだからね

男 うん

豚 じゃあやってみて

男 分かった

男はニワトリの鳴き真似をしながらニワトリを追う。

男 うわっ、こっち来た

豚 逃げちゃダメだよ

男 だって怖いんだよ、こいつら

豚 それじゃ小屋に入ってくれないでしょ

男 何で放し飼いなの？

豚 小屋に閉じこめるとストレスが溜まってよくないんだ

男 そんなもんかな？

豚 ある程度運動させた方がおいしくなるんだよ

男 ふーん

豚 さ、もう一回

男 トニー、やってみせてくれよ

豚 仕方ないな

豚はニワトリの鳴き真似をしながらニワトリを追う。

豚 分かった？

男 すごいな

少年、登場。

少年 ただいま

男 おかえり

豚 早かったね

少年 ああ、売れるのが早かったから

男 そうなんだ

少年 卵はよく売れるよ。タンパク質は人気があるからな

男 ああ、食糧は必要だよ

少年 何してたの？

豚 ニワトリの世話の仕方を教えてた

男 なかなかうまくできないんだ

豚 ダメだよ、怖がってちゃ

男 でも目が合うとつつかれそうなんだ

少年 あんまり近付くと目をえぐられるよ

男 そうだよな

豚 ニワトリはそんなことしない

少年 トニー、よくいじめられて泣いてたじゃないか

豚 そういう悪いニワトリはもう食べたから大丈夫

男 食べたのか

少年 そうだ、ノッポさんに手紙が来てたよ

男 え？

少年 これ、ノッポさん宛だろ？

少年はノッポさんに手紙を渡す。

男 これ、どうしたの？

少年 俺、郵便配達の仕事してるから

男 そうなのか？

少年 あれ？　言ってなかったっけ

男 聞いてない

少年 じゃ、今言った

男 そうか

少年 運がいいよ。戦場じゃもう手紙なんか届かないからさ

男 そうだよな

豚 誰から？

男 ちょっとな

少年 フィズって誰？

豚 フィズ？

少年 差出人はフィズだよ

豚 フィズって誰？

男 いいだろ、別に

少年 教えてよ。せっかく手紙持ってきたのに

男 ああ、ありがとう

男、退場。

豚 行っちゃった

少年 ああ

豚 誰かな？

少年 恋人なんじゃないかな

豚 恋人？

少年 ノッポさんの故郷からの手紙だったよ

豚 そうか

少年 戦争に行ってる恋人に手紙を出してるんだよ

豚 ロマンチックだね

少年 やるな、ノッポさん

男、登場。

男 なあ

少年 何？

男 返事を書きたいんだけど、便せんってないかな？

少年 ああ、あるよ

豚 フィズっていうのは恋人なの？

男 そうだよ

少年 やっぱり

豚 その手紙、見せてよ

男 ダメだよ

豚 どうして？

男 これは見せられない

少年 いいだろ、ちょっとぐらい

男 ダメ

少年 ケチ。便せんあげないぞ

男 そんなこと言うなよ

少年 分かったよ。こっち来て

男 ああ

男・少年・豚、退場。

男・女、登場。

女 お元気ですか？　返事の来ない人に手紙を書くのは寂しいものです。そちらでは大きな戦闘があったと聞きました。遺書が届けられるところもたくさんあります。便りがないのは元気な証拠と言いますが、それを信じていいのでしょうか。返事を待っています

男 お元気ですか？　僕は何とかやっています。この前の戦闘では大きな活躍をして功労賞をもらいました。心配かけてすみません。でも僕は戦争に来てしまったのだから、戦わなければいけません。きっともうすぐ終わります。必ず帰るから、待っていてください

女 久しぶりに返事があって嬉しいです。無事でいてくれて本当によかった。まだ帰ることはできないんですね。くれぐれも無理をしないでください。ちゃんとご飯は食べていますか？　お体に気をつけて。必ず帰ってきてください

男・女、退場。

【５】　魔法

男・少年・豚がいる。

少年 ゾウ

男 ウシ

豚 シマウマ

少年 マグロ

男 ロバ

豚 バク

少年 クジラ

男 ラクダ

豚 ダチョウ

少年 ウサギ

男 ギ？

少年 ギ

男 ギって何だよ

少年 ギだよ

男 ギ？

少年 ブー

男 分かんないよ

少年 ダメだな

男 ギって何かあるか？

豚 銀杏

男 それは動物じゃないだろ

豚 ギロチン

男 ダメ

豚 牛タン

男 何で全部「ン」がつくんだよ

少年 よし、もう一回いくぞ、動物しりとり

男 もうやめよう。難しいよ

少年 そんなこと言わないでさ

男 別のにしようよ

少年 じゃあ肉の種類

男 肉？

少年 古今東西、肉の種類。ロース

男 ヒレ

豚 バラ

少年 肩ロース

男 もも

豚 サーロイン

少年 レバー

男 タン

豚 カルビ

少年 ハラミ

男 ハツ

豚 ねえ

少年 何？

豚 僕を見ながら言うのやめてくれない

少年 何で？

豚 何か、嫌だ

男 見てるとイメージわくんだよな

豚 やめてよ

少年 トニーはそろそろソーセージになる練習をしとかないとな

男 ああ、そうか

豚 え？　どんな練習？

男 もうソーセージにするの？

少年 そろそろいいかと思ってるんだけど

豚 ねえ、ソーセージになる練習ってどんな練習？

男 まだ全然太ってないよ

少年 そうなんだよな

豚 ねえ、どんな練習？

少年 トニー、うるさいよ

豚 プギー

男 なあ、ライの親父さんってどんな人だったんだ？

少年 何で？

男 魔法使いだったんだろ

少年 うん

男 どんな魔法が使えるの？

少年 何でもできるよ

男 何でも？

少年 そうだな、たとえば、ここに豚がいます

豚 プギー

少年 手を叩くとソーセージになります

豚 プギ？

少年 いくよ。三、二、一

少年は手を叩く。

男 変わってないよ

少年 だから、父さんはそういうことができたんだ

男 ライ、お前も魔法使いなんだろ？

少年 そうだよ

男 できないの？

少年 俺はまだ見習いだから

男 何ができるの？

少年 何でもできるよ

男 できないじゃん

少年 できるよ。じゃあ、ここに豚がいます

男 うん

少年 手を叩くとニワトリになります

豚 え？

少年 いくよ。三、二、一

少年は手を叩く。

豚はニワトリの真似をする。

男 ああ、それっぽいな

少年 ね、それっぽいでしょ

男 でも、これって真似してるだけだろ

少年 そうだよ

男 魔法、関係ないじゃん

少年 そんなことないよ。魔法のおかげだよ

男 こいつが勝手にニワトリの真似してるだけだろ

少年 ニワトリの真似をするように魔法をかけたんだよ

男 分かりにくいな

少年 じゃあ別のにしよう

男 何でもできるんだよな？

少年 できるよ

男 じゃあ空を飛べるようにしてくれ

少年 それはできない

男 何でもできるんだろ？

少年 もっと現実的な方法を考えようよ

男 どんな？

少年 しゃっくりが止まらなくなるとかさ

男 ああ、なるほどな

少年 フルマラソンを走りきるとかさ

男 ああ

少年 あと、何がいいかな？

男 フルマラソンよりトライアスロンの方がいいよ

少年 そうか

男 後は、川で流されて海に行くとか

少年 崖から落ちるのってどう？

男 死んじゃうんじゃないか？

少年 大丈夫だよ、トニーは何でもできるんだから

男 そうか

少年 熊と戦う

男 いいな、それ

少年 じゃあ、豚は熊と戦う

豚 待って

少年 何？

豚 何で？

少年 何が？

豚 何で熊と戦うの？

少年 魔法だから

豚 おかしいよ

男 おかしくないだろ。魔法かけたら熊と戦うんだろ？

少年 そうだよ

豚 魔法で何ができるかって話でしょ？

男 そうだよ

豚 何か、僕に何をさせるかって話になってない？

男 なってる

豚 趣旨、違うよね

少年 うん、違う

豚 だったらやめてよ

少年 ま、いいんじゃない？

豚 え？

男 そうだな、熊と戦うところって見てみたいし

少年 勝ったら熊鍋だよ

男 負けたらどうするんだよ

少年 豚鍋でいいんじゃない？

豚 待って

少年 何？

豚 僕にメリットはないの？

少年 ないよ

豚 プギー

少年 じゃあいくぞ。手を叩くと豚は熊と戦う。三、二、一

少年は手を叩く。

豚、退場。

男 逃げた

少年 行っちゃった

男 ちょっとかわいそうだったか？

少年 大丈夫だよ。そのうち戻ってくるから

男 そうだな

少年 さ、ご飯の準備しようかな

男 なあ、ライのお父さんってどんな人だったんだ？

少年 父さん？

男 うん

少年 変な人だったよ

男 変な人？

少年 うん

男 変って、どんな風に？

少年 うまく言えないけど

男 うん

少年 よく笑ってた

男 うん

少年 よく魔法を使ってくれたよ

男 なあ、魔法って何ができるんだ？

少年 父さんは何でもできたよ

男 何でも？

少年 父さんの魔法は、喋ったことが本当になるんだ

回想。

少年 父さん、父さん

男 何だ？

少年 遊んでよ

男 ああ、いいよ

少年 何する？

男 にらめっこしよう

少年 いいよ。にらめっこしましょ、笑うと負けよ、アップップ

男 ハッハッハッハッハ

少年 父さん、弱いよ

男 アップップって何だろうな

少年 それで笑ったの？

男 おかしいよな、アップップって

少年 おかしくないよ、アップップ

男 アップップだろ。ハッハッハッハッハ

少年 笑ってちゃにらめっこできないよ

男 笑ったからお前の勝ちだ

少年 嬉しくない

男 そうか。じゃあどうしたら嬉しい？

少年 俺、友達が欲しい

男 いるだろ、友達

少年 いないよ

男 この前、子豚が生まれただろ？

少年 豚だよ？

男 いいじゃないか、豚で

少年 よくないよ

男 じゃあ豚を連れておいで

少年 分かった

少年は豚を連れてくる。

少年 連れてきたよ

豚 プギー

男 名前は何ていうんだ？

少年 トニー

男 トニーを喋れるようにしてあげよう

少年 本当？

男 本当だ。いくぞ。三、二、一

男は手を叩く。

豚 こんにちは

少年 喋った

男 さ、これでトニーはお前の友達だ

少年 ありがとう

男 トニー、ライをよろしくな

豚 うん、分かった

回想、終わり。豚、退場。

少年 そうやってトニーは喋るようになったんだ

男 すごいな

少年 父さんの言ったことは本当になるんだ

男 どうしてそんなことができるんだ？

少年 魔法使いだからだよ

男 そうか

少年 父さんは言ったんだ。「この豚は家畜だから、しっかり太らせてソーセージにして売るんだよ」って

男 え？　お父さんがそう言ったの？

少年 そうだよ

男 友達じゃないの？

少年 俺は友達が欲しいって言ったよ。でもトニーは家畜なんだ

男 何が違うんだ？

少年 やっぱり家畜は食べなきゃね

男 でも友達なんだろ？

少年 そうだよ

男 本当に食べるのか？

少年 分かんない。でも、今のところやせっぽっちだからそんな心配しなくていいよ

男 まあ、そうだけど

少年 まだしばらくはトニーと暮らすよ

男 ずっとここにいるのか？

少年 分かんない

男 そうだな

豚、登場。

豚 プギー

少年 トニー

男 帰ってきたか

豚 熊

少年 熊？

豚 熊

男 熊はもういいんだよ

豚 熊、倒したけど

男 は？

少年 倒したの？

豚 倒した。どうする？　食べる？

少年 食べる

豚 熊鍋だよ

少年 熊鍋だ

男 ちょっと待てよ、倒したって、どうやって倒したんだよ

全員、退場。

【６】　手紙

少年と豚が遊んでいる。

豚 ノッポさん、何してるの？

少年 手紙書いてるよ

豚 フィズって人に？

少年 うん、フィズって人に

豚 恋人なんだよね

少年 そうやって言ってたよな

豚 どんな人なんだろう？

少年 そりゃあ……どんな人なんだろう？

豚 戦争、長いよね

少年 うん、長い

豚 もうすぐ終わるかな

少年 もうすぐ終わるよ

豚 どうして戦争してるの？

少年 さあ？

豚 ノッポさんの国って、西側でしょ？

少年 ああ

豚 どんな国なの？

少年 さあ？　行ったことないからな

豚 そうだね

男、登場。

男 ライ

少年 できた？

男 ああ。また届けてくれるか？

少年 分かった。行ってくるよ

男 悪いな

少年 いいって。仕事だからね

少年、退場。

豚 ノッポさんの国ってどんな国？

男 何だよ、急に

豚 何があるの？

男 何がって、山があって、川があって、木が生えてる

豚 うん

男 あと、家があって、人がいるよ

豚 こっちと変わらないね

男 そんなに変わらないよ

豚 そうなの？

男 ああ

豚 ノッポさんは、どうして戦争に来たの？

男 行けって言われたからだよ

豚 ふーん

男 男はみんな戦争に行くんだ

豚 ライは行かないよ

男 ライは子どもだからな

豚 僕も行かないよ

男 トニーは豚だからな

豚 豚は戦争に行かなくていいの？

男 行きたいのか？

豚 行きたくない

男 だったら行かない方がいいよ

豚 ノッポさんは行きたくなかった？

男 そうだな

豚 だったら来なきゃよかったのに

男 そういうわけにもいかないよ。命令なんだから

豚 何で戦争してるの？

男 さあ？

豚 分からないのに戦争してるの？

男 最初は何か理由があったよ

豚 うん

男 でもそのうち忘れちゃったな

豚 どうして？

男 戦争やるのに理由なんかいらないよ

豚 理由がなきゃ戦争なんかしないよ

男 だから俺は逃げたんだ

豚 ノッポさんは国に帰る？

男 ああ

豚 帰れる？

男 分からん。でも戦争が終われば帰れるよ

豚 戦争、もうすぐ終わるよ

男 ああ

豚 ライがそう言ってた

男 俺もそう思う

豚 どうして分かるの？

男 限界だからさ

豚 限界？

男 たくさん人が死んで、鉄砲の弾も食べ物もなくなったら、戦争なんかできないだろ

豚 うん

男 そしたら仲直りするんだ

豚 仲直りできる？

男 とりあえずな。お互い元気になったらまた戦争するんだ

豚 またやるの？

男 そうだよ

豚 どうして？

男 戦争やるのに理由なんかないよ

豚 変なの

男 戦争はたくさん人が死ぬんだよ

豚 うん

男 俺の友達も死んだよ

豚 友達？

男 大切な友達

豚 かわいそうだね

男 ああ、かわいそうだ。俺はあいつの代わりに生きなきゃならない

豚 代わりに？

男 ああ、そうだよ

豚 どうして？

男 約束しんたんだ

豚 ふーん

少年、登場。

少年 手紙、出してきたよ

男 ああ、ありがとう

豚 手紙って誰が届けてるの？

少年 郵便配達の人がいるんだよ

豚 でも戦争してるんでしょ？

男 それは気になってたんだ。戦争中なのにどうして郵便は届くんだ？

少年 郵便だけは戦争関係ないよ

男 どうして？

少年 郵便が届かないと困るでしょ？

男 うん

少年 父さんの魔法だよ

豚 魔法？

少年 手紙がちゃんと届くように、父さんが魔法をかけたんだ

男 そんなことできるのか？

少年 父さんも郵便配達してたんだよ

男 そうなのか

少年 だから大丈夫だよ

男 ありがとう

少年 さ、ご飯にしよう

豚 うん

全員、退場。

回想。

男・少年、登場。

少年 待ってよ、父さん

男 どうした？

少年 本当に行くの？

男 ああ、行くよ

少年 どうして戦争に行くの？

男 行かなきゃいけないんだ

少年 嫌だよ

男 ごめんな

少年 俺、一人でどうしたらいいの？

男 ライ、お前は男の子だろ？

少年 うん

男 一人でも大丈夫だ

少年 うん

男 それにトニーが助けてくれる

少年 うん

男 がんばるんだぞ

少年 ねえ、俺も父さんみたいな魔法使いになれるかな？

男 なれるさ

少年 でも俺、全然魔法使えないよ

男 そのうち使えるようになる

少年 そうかな？

男 俺の代わりに郵便配達の仕事を頼むぞ

少年 うん、分かった

男 ちゃんとご飯を食べるんだぞ

少年 うん

男 泣くんじゃないぞ

少年 うん

男 よし、いい子だ

少年 いつ帰ってくるの？

男 戦争が終わったら帰ってくる

少年 本当に？

男 ああ、本当だ

少年 約束だよ

男 指切りしよう

少年 うん、指切り

男と少年は指切りをする。

回想終わり。男・少年、退場。

【７】　戦争の終わり

少年がいる。男、登場。

男 なあ、トニー知らないか？

少年 トニー？

男 見あたらないんだ

少年 トニーはもういないよ

男 どうして？

少年 市場で売ったんだ

男 売った？

少年 うん、さっき売ってきた

男 どうして？

少年 戦争が終わったんだ

男 え？

少年 戦争が終わって、父さんの魔法が解けた

男 ちょっと待てよ、どういうことだ？

少年 だから、戦争が終わったんだ

男 戦争、終わったのか

少年 うん

男 魔法が解けたってどういうことだ？

少年 父さんは、戦争に行ってる間、俺が困らないように魔法をかけたんだ。だからトニーも喋ったし、郵便配達もできた

男 もうダメなのか

少年 うん、もうダメ。だからトニーは売った

男 どうして売ったんだよ？

少年 どうして？

男 あんなに仲良かったじゃないか。どうして売ったんだよ

少年 だって父さんが帰って来ないんだ。父さんは戦争で死んだから

男 トニーは関係ないだろ

少年 喋らないトニーはいらない

男 それでいいのか？

少年 俺は父さんに会いたい

男 ライ

少年 ノッポさん、もう国に帰りなよ。もう戦争終わったよ

男 ライはどうするんだ？

少年 分かんない

男 お前を置いていけないよ

少年 どうして？

男 どうしてって

少年 もう手紙来ないよ

男 うん

少年 待ってる人がいるんだろ？

男 待ってるのは俺じゃない

少年 え？

男 戦争で死んだ恋人を待ってるんだ

少年 どういうこと？

男 俺、本当はジンっていう名前じゃないんだ。本当の名前はバック

少年 でも、あの手紙は？

男 ジンの代わりに書いてたんだ、俺が

少年 どうして嘘ついたの？

男 とっさだったよ。名前を言うと捕まるかもしれないって思って。手紙が来たのは偶然だったよ。まさか俺のところに届くなんて思ってなかったからな

少年 それでジンの振りをして返事を書いてたの？

男 ああ、そうだよ

少年 でも、ジンは死んじゃったんでしょ？

男 ああ

少年 どうするの？

男 言うよ、本当のこと。国に帰って、まずフィズのところに行く

少年 大丈夫？

男 何が？

少年 フィズは何て言うかな？

男 何て言うだろう。きっと、泣くんだろうな

少年 うん

男 俺は悪いことをしたと思うか？

少年 え？

男 ジンは死んだって言った方がよかったのかな

少年 分かんない

男 でも、言えなかった。言えなかったよ

少年 うん

男 俺が死んだ方がよかったんだよ

少年 え？

男 ジンの代わりに俺が死ねばよかったんだ

少年 そんなことないよ

男 え？

少年 そんなことない

男 そうか？

少年 父さんには死んでほしくなかったけど、父さんの代わりに誰かが死ねばよかったなんて思わない

男 そうか

少年 俺、トニーを取り返してくるよ

男 え？

少年 大事なことを思い出した。トニーは俺がソーセージにしなきゃ

男 まだソーセージにしてないのか？

少年 うん。丸ごと売ってきた

男 そりゃダメだよ。ソーセージにするんだろ

少年 うん。トニーは帰ってこなきゃダメだ

豚、登場。

豚 ライ

少年 トニー

男 どうしたんだ？

豚 逃げてきた

少年 トニー、どうして喋ってるの？　父さんの魔法は解けただろ

豚 これはライの魔法だよ

少年 俺の？

豚 ライが僕に魔法をかけたんだ。だから逃げてきた

少年 偉いぞ、トニー

豚 ライ、売るなんてひどいよ

少年 ごめんな

男 ライは魔法が使えるようになったのか？

豚 そうだよ。ライは魔法使いだから

男 よかったな

少年 うん。今度はちゃんとソーセージにするからな

豚 嫌だよ

少年 しっかり太るんだぞ

豚 ノッポさんは帰るの？

男 ああ

豚 お別れだね

少年 ノッポさん、ご飯食べていきなよ

男 いや、でも

少年 トニーを太らせるんだ。手伝ってよ

男 分かった

豚 僕は太らないよ

少年 たくさん食べるんだぞ

三人、退場。

女、登場。

女 お元気ですか？　暖かくなって、すっかり春の陽気になりました。周りは花でいっぱいです。戦争が終わったと聞きました。あなたは帰ってくるのでしょうか。どうか無事でいてください。あなたが帰ってくる日を、私は待っています

女、退場。

終わり。